

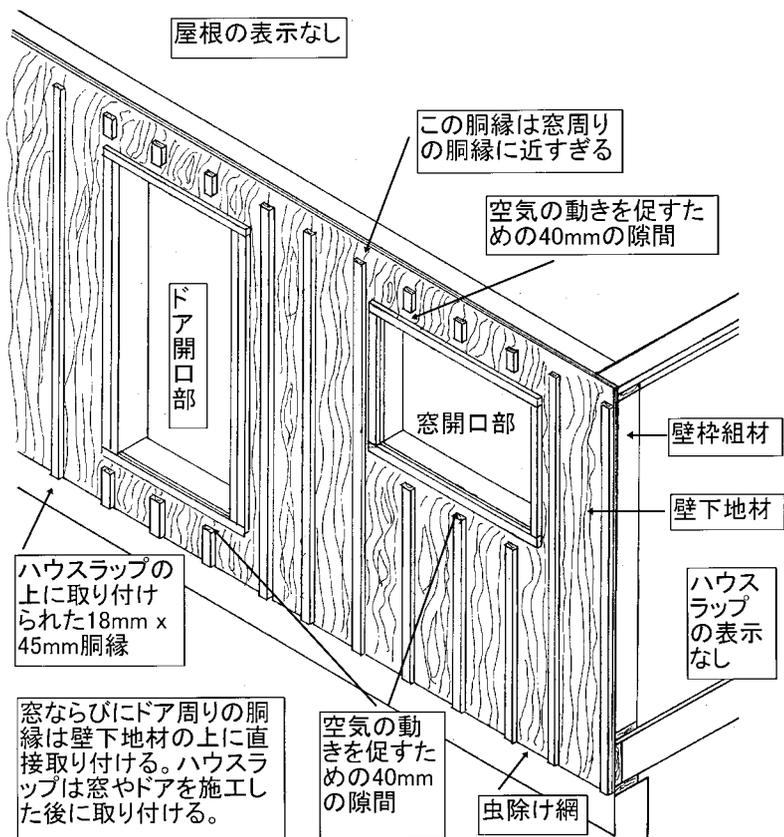
雨からある程度守りますが、日本では時期的に暴風雨があります。水分が貫通する穴を完全に取除くことも不可能です。しかし、胴縁工法は、水分が構造体に侵入する力を取り除くか、少なくすることができます。適切に設計された胴縁工法では、サイディングの

内外の気圧が均衡化されて、気圧の差が原因で水分が動く要素が無くなり、水分は構造体に侵入できなくなります。これは、空間の上下が開いている場合に可能となります。空気が空間内全体で素早く動いてサイディングの両側の気圧を均衡化しなくてはなりません。

さらに、壁の構造体に空気が入り込まないような気圧でなくてはなりません。これが行われないと、水分は構造体内に入り込み、胴縁工法の効果は

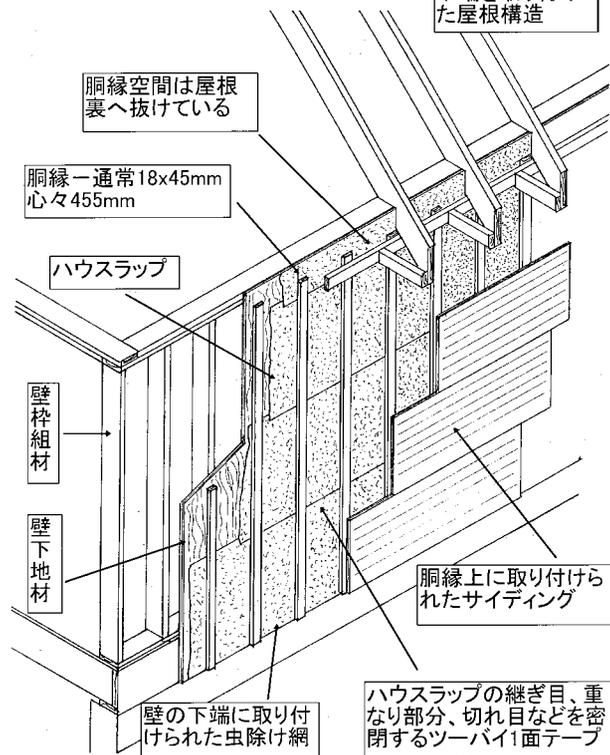
充分ではありません。また、ハウスラップの継目が密閉されて、空気が構造体内に入り込まないようにしてはなりません。

通常の窓やドア開口部における胴縁の施工法



住宅建築で最もよく使われている施工法は、木製の胴縁をハウスラップの上から取り付ける方法です。この胴縁にサイディングが取り付けられます。胴縁は通常厚さ18mm以上です。胴縁の上下に隙間を残します。窓やドアの回りにも隙間を空け、胴縁によって作られた空間の上下両方に通気空間を設けます。この施工法でサイディングの裏側を空気が妨げなく循環できます。下記は、窓やドアがない壁に胴縁を取り付けるステップです。

胴縁工法の壁の一般例



1. 間柱か壁下地材にハウスラップを取り付けます。切れた部分や継目をツーパーイ面テープで密閉します。
2. 胴縁でできた空間に虫が入り込まないように、虫除網を取り付けます。アメリカでは150mm x 30mmのロール状の網が簡単に入手できますが、日本ではより大きな寸法となります。胴縁を取り付ける前にこの網を壁の底部、ハウスラップの上にステープルで取り付けます。網の上部だけステープルで留め、後で胴縁の下端へ上へ折り曲げて留められるようにします。その上へサイディングを取り付けます。
3. ハウスラップの上に胴縁を縦に取り付けていきます。胴縁の厚みは最低12mmは必要で、18mm以上の方が効果があります。幅はサイディングの継目がしっかり留められる寸法で、少なくとも45mmは必要です。胴縁を縦に取り付けることで上下の空間を作り、水分が上がって上から外へ逃れるようにします。取付けには釘かネジを使い、最低150mm間隔で留めます。胴縁の間隔は、サイディ

ングの釘留め間隔に合わせます。日本製サイディングの場合はほとんどが455mmですが、各サイディングのメーカー取付け説明書に従ってください。

4. 胴縁を水平に取り付ける方法もありますが、空気が上方へ移動できるように対処しなくてはなりません。日本のサイディングのほとんどが長方形の板が横長の板材で、水平に取り付けますので、縦の胴縁で問題ありません。胴縁工法の基本的な概念である気圧の均衡化が達成しにくいので、水平の胴縁はできるだけ避けてください。また、蒸気は自然に上へ上がりますので、水平の胴縁では上がりにくくなります。
5. 胴縁の上に、メーカーの指定に従った釘の間隔でサイディングを取り付けていきます。
6. サイディングの隙間からは水が侵入しますので、特に窓やドア回りの胴縁の取付けには注意を払います。また、胴縁で作られた空間を水分が妨げなく上へ上がっていきけるよう、窓やその他の開口部の回りの胴縁の納め方に注意してください。

アメリカ・シアトルより 貴社の業務をサポート 「建築資材輸入」の お手伝いします

日本人経営の会社です
商慣習や言語の違い心配りません。
数量の大小に係わらずお手伝いします。



インパック・カンパニー株式会社

5059 S.W. Admiral Way Seattle, Washington 98116
TEL 206-937-4825 FAX 206-937-4988 担当 大川

胴縁工法の場合の窓の取付け方

胴縁工法でサイディングを取り付ける場合に問題となるのが、窓やドアの開口部の処理です。最も簡単な方法は、窓やドアを胴縁の上に取り付けて、それに適切な水切りや水密処理を施すことです。開口部は、外壁の気密性を保つ方法で対処しなくてはなりません。窓やドアには上部に適切な水切りか

ラッシングを施します。

窓やドアは通常胴縁の上に取り付け、サイディングやトリムが窓枠と揃うようにします。サイディングを取付け、開口部にはコーキングとフラッシングを施し、最高品質のペンキ材でしっかりと仕上げます。下記のステップは胴縁工法における木製窓の取付け方で、